



# 森のなかま

2026年 3月号

NO. 213 (継続358号)

NPO法人かながわ森林インストラクターの会 <http://www.forest-kanagawa.jp> 発行人 黒川 敏史  
〒243-0018 厚木市中町2丁目13番14号・サンシャインビル6階604号 TEL046-297-0301・Fax046-297-0302

## かながわ森林インストラクターの会 2026年新年イベント 新年会は新会場にて開催

令和8年1月10日(土) 晴れ

【午前の部】安全のつどい

時間：10:15～11:45

場所：やどりき水源林

参加：会員 49名

【午後の部】新年のつどい

時間：13:30～15:00

場所：あしがり郷 瀬戸屋敷・土蔵

参加：会員 56名

18期幹事：川島、指澤、田中、藤巻、山口、渡邊



### 【午前の部】

当日のやどりき水源林は、雲ひとつない青空が広がり、冬とは思えない穏やかな陽気に恵まれました。49名の参加者が集い、川島理事の司会のもと、本年の「安全のつどい」が開催されました。

黒川理事長から、「危険は“やること”と“やり方”のどちらかが変わる時に生じる」とのお話がありました。環境や手順の変化に気づき、柔軟に対応することの大切さが、改めて共有されました。

続いて、安全管理委員会の高谷委員長からは、日頃の安全意識の徹底と基本行動の重要性が呼びかけられました。



やどりき水源林にて 集合写真



SMASの森事業部の滝澤さんからは、「気配り・声かけ」を合言葉に、小さな変化に気づき合うことの大切さが強調されました。

やどりき事業部の高谷さん(安全管理委員兼任)からは、森の案内人20年の節目を迎えるにあたり、「新しいスタートの年」として活動継続の工夫や拠点変更についての報告がありました。

また、日本触媒の森事業部の上宮田さんからは、心身の健康とヒヤリハットゼロを目標とする方針が示されました。

さらに、蟹田沢事業部の國弘さんからは、天候に応じた無理のない



活動と、新規メンバー募集について紹介がありました。

本つどいを通じ、今年も無事故・無災害を目指し、参加者一同、意識を新たにする機会となりました。

(記\_指澤 俊宗<sup>⑩</sup>)



【午後の部】

開成町指定重要文化財「あしがり郷\_瀬戸屋敷\_土蔵」を会場に新年会を実施しました。新松田駅から路線バスに乗り、更に徒歩 15 分の道のりを歩き、総勢 56 名が参加しました。



瀬戸屋敷 表門

今年は、料理・飲料持込み、会場設営・片付け、全て自前での運営であり、17 期先輩からアドバイスを頂き準備を進めました。受付でお土産のシュロ箆を受け取り、くじを引いて「杉」「檜」「松」「銀杏」「桜」の札が置かれたテーブルに着席しました。

黒川理事長の挨拶、乾杯で宴が始まり、リレー形式で 10 名の方が今年の抱負を語り、会場の雰囲気や和んでいきました。諸先輩の「会の将来に希望が持てる」「新しい期の結束を感じた」と嬉しそうな表情を拝見して、準備段階からの苦勞が報われました。内野さんのお言葉と一本締めで盛会のうちに閉会となりました。

会場撤収は、森林インストラクターの本領発揮、15 分ほどで原状復帰はお見事でした。片付けまでお付き合いくださったみなさま、ありがとうございました。また、スタッフとしてご協力いただいた、17 期 18 期のみなさまに御礼申し上げます。(記\_山口 政美<sup>⑩</sup>、写真\_植原 拓<sup>⑩</sup>、指澤 俊宗<sup>⑩</sup>)



瀬戸屋敷 土蔵での  
新年会の様子



## 会員コラム

森林インストラクターが「よこはまみどりアップ計画市民推進会議」の SNS、  
“Yokohama みどりアップ Action”に寄稿しています。

記 飛田 尚弥<sup>⑮</sup>

2025 年 4 月号にてご報告した森林インストラクターのよこはまみどりアップ計画市民推進会議での活動について、続報をお伝えします。25 年度中、市民推進会議は広報戦略会議を重ね、特にみどり税の大部分を負担する都市在住子育て世代にみどりアップ計画による都市型緑地保全へのご理解をいただくための方策を考え横浜市みどり環境局に順次施策を提案してまいりました。実施に移された案の一つが昨秋の“Yokohama みどりアップ Action” note の立ち上げです。以来、大小さまざまな記事が市広報担当と市民推進会議によって投稿されておりますが、森林インストラクター飛田によるまとまった記事が 1 月にアップされましたのでご報告いたします。

[https://note.com/yokohama\\_m\\_act/n/n67f9b7cd35d6?rt=email&sub\\_rt=daily\\_report\\_followee\\_notes](https://note.com/yokohama_m_act/n/n67f9b7cd35d6?rt=email&sub_rt=daily_report_followee_notes)

note の記事ですので、忙しい中でもスマホでさく々とアクセスできるようデザインに努めております。今後も市民推進会議は JA 横浜・市教育委員会との連携を通じ SNS のみならず市内各種イベントでもみどり税とみどりアップ計画について税負担いただいている皆様のご理解を深めていただけるよう活動してまいります。この過程で森林の価値についてインストラクターの立場から貢献できればと考えております。ご支援を賜れば幸いです。



街路樹植栽工法について横浜市土木担当から説明をいただきました。

## 会員コラム

『意外と理解していない森林に行う伐採の種類』

記 松本 保<sup>⑩</sup>

森林に行う伐採には間伐、除伐、択伐、主伐、皆伐 の 5 種類があります。

伐採の目的は、単に「建材を取得すること」だけでなく「森の保全活動」も担っているのです。何もむやみやたらに樹木を伐採しているわけではなく、伐採の時期がきた樹木のみを伐り取っているのです。

しかし、伐り取ることだけを続けていけば、当然樹木は減少していく一方です。そうなる、「森の保全活動」は行っているとは言えません。従って樹木を伐採した場合は、新しい苗木の植栽を行います。そうすることで、樹木の数を減らすことなく、森林を維持しているのです。伐採対象は倒れかかっている樹木や、腐っているもの、病気の樹木も含まれます。

最近の間伐と思ってやっているケースで多くみられるのが、杵からはずれたパフォーマンス的なもので木を切り倒す事で快感的な満足感を得、楽しければ良いとの考えの人が多く見受けられます。似非ボランティアスピリットですね。

## ● 間伐（かんばつ） 別名：透かし伐り、疎伐。

間伐とは森林にある樹木の間隔を広げるために、不要な樹木を伐採してしまうことです。不要な樹木を伐採したことで、樹木同士に間隔が空き、光合成を含め栄養がいきわたるようになるのです。

したがって、間伐は樹木の成長を促す効果があります。林木の一部を伐採することで立木密度を疎にし、残った木の肥大成長を促し、森林全体を健康にする。保安林では本数調整伐といいます。

例：列状間伐 立木を列状に抜き取りする間伐方法。ハーベスタ等の機械の導入が容易で、間伐の低コスト化につながる。

## ● 除伐（じよばつ）

除伐とは、建材として質の良い樹木以外を伐採することです。植物を育てるときも同じで、周りの雑草を抜けば、対象の植物に対し、効率よく栄養を与えることができます。それと同じことが森林でも行われています。除伐も、森林を保全するために必要な伐採なのです。幼齢林の手入れ法の一つ。不要の草木を伐り除くこと。

## ● 択伐（たくばつ）

択伐とは森林の中の指定されたエリアのみで行う伐採です。樹木には、伐採が望ましい時期があります。それらは既に決められており、指定されたエリアで基準をクリアした樹木が伐採されるのです。

樹木が健全に育ち、後継樹が順調に生え育つよう、利用可能な成熟木を順次伐採すること。

## ● 主伐（しゅばつ）

主伐とは基本的な伐採方法であり、建材として使用する樹木を伐採する方法になります。建材となる質の良い樹木をピンポイントで選び、それを伐採するというもの。最もポピュラーな伐採方法で、伐採といえばこの主伐をイメージする方も多いのではないのでしょうか。伐採期に達した樹木を伐ること。

## ● 皆伐（かいばつ）

皆伐とは、前述した「択伐」と少し似ており、指定されたエリアで伐採を行うところまでは同じです。しかし皆伐の場合は、指定されたエリアの樹木を全て伐採すること。伐採することが決まっていた場所で行かれません。皆伐を行う理由として、大型施設の建設などで土地を提供するような場合などが挙げられます。



参考資料) 関東森林管理局 HP、ガラスド.jp HP、広辞苑 等 以上

## 活動短 信

今回の掲載はR7年12月13日からR8年1月26日分です。寄稿頂いた中には、紙面都合や寄稿タイミングで次号以降の掲載になるものもあります。

3月(弥生)(旧暦1月 如月)の  
二十四節気、七十二候、鳥こよみ

啓蟄3/5 春分3/20、菜虫化蝶(なむしちょうとなる3/15~3/19)。昔の人は蝶を「夢虫」と呼んでいたそうです。夢と現が混じり合う幻想的なイメージを持つ蝶は、春の使者として春眠の夢にも登場しそうですね。鳥こよみ：タヒバリは、ヒバリではなくセキレイの仲間。河川敷などの開けた場所で動き回って餌を啄む姿が見れるのは冬。よく似たビンズイは夏鳥。松林などを好むので季節と場所から判別できますがどちらも超地味なので目が慣れないと見えません。

### 活動短 信への投稿概略フォーマットと略語の説明

以下のフォーマットに沿って記載をお願いします。  
送付先は最終ページに掲載。

#### ◆ 活動団体・活動名 等

日 日付:令和x年x月x日(曜日)時間、天気  
場 場所:例 相模原市緑区 長竹承継分収林  
参 参加者数:例 15名 (大人13名 子供2名)  
県 例 水源環境保全課 水源事業グループ XX 様  
財 (公財)かながわトラストみどり財団、**看** 看護師  
ス 例 小田原市森林組合 XX 様  
例 川崎市公園緑地協会 XX 様  
イ インストラクター① (○数字:期) **研** 研修枠  
活 活動内容: 例 午前 間伐、午後 クラフトと自然観察  
写真、活動詳細も受け付けます(任意)。

#### ◆ 富士通 Japan 様 秋季森林保全活動

日 令和7年12月13日(土) 9:55~12:50 晴れ  
場 塚原ボランティアフィールド  
参 大人10名、子供1名  
県 水源環境保全課 村松グループリーダー  
イ L小国⑰、大谷⑰、三浦⑰、伊藤⑱  
活 間伐

#### ◆ 神奈川トヨタ自動車株式会社様

##### 神奈川トヨタ プリウス森木会

日 令和7年12月22日(月) 10:00~14:00 曇り  
場 やどりき水源林  
参 14名  
県 水源環境保全課 熊谷様、堀家様  
イ L内野⑨、松浦⑱  
活 プリウス森木会様の活動風景の撮影を目的とした林内整備の指導

#### ◆ 県民参加の森林づくり活動⑱ 除伐

日 令和8年1月17日(土) 8:20~12:25 晴れ  
場 川崎市麻生区万福寺(万福寺さとやま公園)  
参 77名(大人:77名、子供:0名)  
市 グリーンコミュニティ推進室 近藤様  
財 豊丸様、古舘様 **看** 佃様  
ス 神奈川県森林組合連合会 1名  
川崎市公園緑地協会 川瀬様、野牛様  
イ L小国⑰、山口⑰、伊東⑱、大見⑱、杉澤⑱、松浦⑱、池尻⑱、大谷⑱、小野寺⑱、広浜⑱、八木⑱、石川⑱、大川⑱、指澤⑱、島崎⑱、田中⑱

活動場所の「万福寺さとやま公園」は、地区の土地区画整理事業により、地域の原風景をモチーフに「新しい里山」として整備された比較的新しい公園です。新百合ヶ丘駅の北側、徒歩10分ほどのところにあり、県民参加の森林づくり活動としては初めての場所となりました。

活動内容は園内広葉樹林の笹の除伐で、今回対象となった「さとやまの杜1」エリアは、作業前、向かい側が見えないほどに笹が密に繁茂した状況でした。

当日は冬晴れで風もなく絶好の天気のもと、参加者は5班にわかれ約2時間の除伐作業を行いました。結果、笹はほとんど無くなり、散策路からの見通が抜群に良くなりました。事故・怪我無く活動を終え、街なかの公園の整備活動の意義や楽しさを実感できたと思います。



(記・写真:小国 一男⑰)

#### ◆ 県民参加の森林づくり活動⑲ 除伐

日 令和8年1月24日(土) 8:20~13:30 晴れ  
場 伊勢原市子易(大山地区)  
参 47名(大人44名、子ども3名)  
財 (公財)かながわトラストみどり財団 古舘様、倉野様  
看 青木様  
ス 神奈川県森林組合連合会、伊勢原市農業振興課  
イ L藤田⑰、井出⑰、山下⑰、藤代⑰、河西⑰、西村⑰、田島⑰、内田⑰、繁山⑰、伊藤⑰、堤⑰  
活 イノシシ等、獣害対策のための除伐



### ◆秦野市立北小学校

環境・エネルギー学校派遣事業～かながわ環境教室～

日 令和 8 年 1 月 26 日 (月) 10:00～12:10 晴れ

場 秦野市立北小学校 (校庭、教室)

参 特別支援級 (1～6 年) 32 名、先生 12 名

イ L 井出①、谷川⑩、大原⑬、石垣⑮、小国⑰、  
平出⑱、藤巻⑲、田中⑳

活 「水の中の生き物ウォッチング」

3 時間目：プールと池で水生生物採取

4 時間目：教室で生き物抽出、リーダより説明。

## やどりき水源林ミニガイド

### 「やどりき森の案内人」

「森の案内人」森の案内人は今月 (3 月 1 日 (日)) から再開します。毎週土曜・日曜の午前 10 時と午後 1 時から「NPO 法人かながわ森林インストラクターの会」会員が水源林をご案内します。やどりき水源林ゲート前までお越しください。詳しくはこちらからご覧ください。

[R07mH-°ëüÖiÄÈ H 202501.xlsx](#)

### 「やどりき水源林ニュース」

過去号は上記リンク先からご覧になれます。

### やどりき水源林問合せ：

(公財)かながわトラストみどり財団

TEL：045-412-2255 / FAX：045-412-2300

<https://ktm.or.jp/> Mail: [midori@ktm.or.jp](mailto:midori@ktm.or.jp)

かながわ森林インストラクターの会

<https://www.forest-kanagawa.jp/>

Mail: [kinst0981@friend.ocn.ne.jp](mailto:kinst0981@friend.ocn.ne.jp)

### ◆ 森林探訪ガイドブック 好評販売中！

『森林探訪ガイドブック』は、かながわの自然を愛する森林インストラクターが力を結集して企画・編集したガイドブックです。

A5 フルカラー52 頁、動植物や史跡等の写真多数、地図、高低差図、ミニ動画ガイド付きです。

在庫がなくなり次第、販売終了となりますので、お早めに購入申込みしてください。定価：相模川以西、相模川以东 各 700 円 (税込) 右の QR コードから！



### ◇ 森のなかま原稿募集 ◇

会員読者の皆様から広く募集しています。原稿は随時受付けています。

<広報全般お問い合わせ>

河西 静夫

[skasai0618@gmail.com](mailto:skasai0618@gmail.com)

<電子配信会員向け担当>

小池 宗子

[muneko-sakura@outlook.jp](mailto:muneko-sakura@outlook.jp)

<本誌、別冊原稿送り先>

河西 静夫

[skasai0618@gmail.com](mailto:skasai0618@gmail.com)

小国 一男

[ka-oguni@ab.auone-net.jp](mailto:ka-oguni@ab.auone-net.jp)

受信漏れを防ぐため本誌、別冊とも上記に 2 名にお送りください

森のなかまは過去号もご覧になれます

[https://www.forest-](https://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01)

[kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01](https://www.forest-kanagawa.jp/3kiroku.html#kiroku01)

(HP 担当：森本 利弘)

### かながわ森林インストラクターの会 広報部

編集人：河西 静夫

広報部：黒川 敏史、松本 保、

笠原 かずみ、長尾 晴子、小林 照夫、

大友 博道、小国 一男、小池 宗子、

森本 利弘

支援：大原 正志、吉田 郁夫